

ジェネリック医薬品軽減額通知

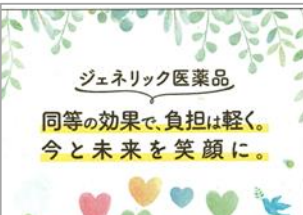
別紙1

輕減額通知

処方された先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、お薬代の自己負担額がどのくらい軽減されるかを試算したお知らせを令和**4年2月24日**から送付します。（広島支部加入者に約**7万8千**件）

昨年**2月**に送付した際には、**1**か月の医療費ベースで約**5,100**万円の軽減効果がありました。（令和**3**年**3**月効果測定）

同封リーフレット



ジェネリック医薬品

**同等の効果で、負担は軽く。
今と未来を笑顔に。**



1

ジェネリック医薬品は
先発医薬品と同じ有効成分を
利用することで、研究開発費や
研究開発期間が少ないため
お薬の価格が抑えられます。



2

ジェネリック医薬品の
品質と安全性を高め、
もっと安心な医薬品を
お届けするために。

先発医薬品は**長い歳月**と
数百億円以上といわれる費用をかけて
研究開発されます。

ジェネリック医薬品は先発医薬品の特許期間を過ぎたあと
同じ有効成分を利用して研究開発されるため、その分
研究開発期間やコストを大幅に
おさえることができ、
お薬の価格を抑えられます。



原価

期間

先発医薬品
有効成分の発見、
試験に長い期間と
費用がかかります。

ジェネリック医薬品

同じ有効成分
利用して開発



原価

期間

同等の効果で、負担は軽く。今と未来を笑顔に。

医薬品を作るときは
製法管理、品質管理に関する
厳しい基準GMP[®]があります。
ジェネリック医薬品は、
先発医薬品と同様に、GMP基準を
満たしたうえで製造されています。

GMP[®] Good Manufacturing Practice



**GMP
三原則**

01 人間的な誤りを
最小限に

02 医薬品の汚染及び
品質の低下を防止

03 高い品質を証明する
システム設計

品質管理、品質管理に関する
厳しい基準GMP[®]があります。
ジェネリック医薬品は、
先発医薬品と同様に、GMP基準を
満たしたうえで製造されています。



**ジェネリック医薬品は
効き目が
先発医薬品と同等であると
認められています。**



**ジェネリック医薬品を
より飲みやすく手軽に
服用できるように。**

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分を
同量含んでいます。
また、国の審査によって、品質、安全性が
認められています。



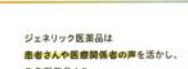


先発医薬品



ジェネリック
医薬品

ジェネリック医薬品は
患者さんや医療関係者の声を活かし、
先発医薬品より
飲みやすく工夫されている
ものもあります。





小型化
成分は同じで。



苦みを
コーティング
マスキング技術で
飲みやすく。



ザラつき感を
抑える
粒子を小さく。


**水なしでも飲める
OD錠（口腔内
崩壊錠）に。**

**未来の子どもたちのために
今後もジェネリック医薬品を。**

ジェネリック医薬品のご希望の方は

医師または薬剤師に
**ジェネリック医薬品への
切り替え**について相談ください。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同等の有効成分を含みますが、錠剤の形状や包装は異なります。処方箋に記載されているジェネリック医薬品の名称を確認してください。

ジェネリック医薬品の供給について

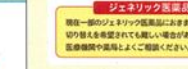
現在一部のジェネリック医薬品にのみおまして、供給不安や欠品防止のため、
10月1日より希望しても購入しづらい場合があります。切り替えを希望される方は、
医師の相談や薬局よりご確認ください。

ジェネリック医薬品の使用例

日本の**医療保険制度の
維持**につながります。

※ 薬剤費の負担軽減に貢献しています。ジェネリック医薬品の使用により、医療費の削減が期待されます。

薬剤費削減効果は、**4,300億円**以内
（※ 2019年度実績）

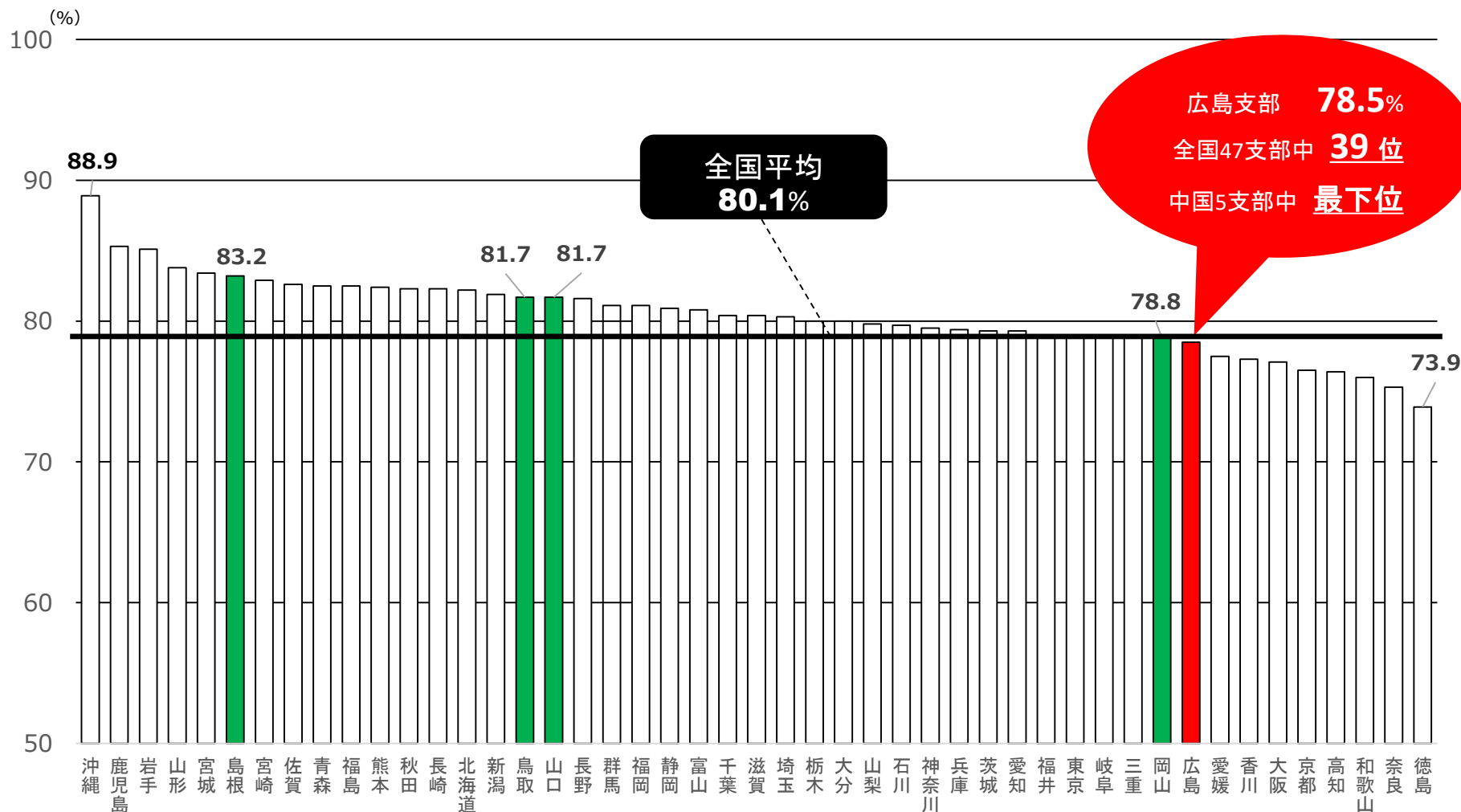


※ 2019年度実績は、ジェネリック医薬品の使用による薬剤費削減効果を示しています。

この広告に記述されている情報は、サードパーティへ
0120-239-001
FAX: 0120-239-002
受付時間: 9:30~17:15（土日祝祭日）

[illegible]

都道府県別ジェネリック医薬品使用割合 令和3年10月



注1. 協会けんぽ（一般分）の内科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）

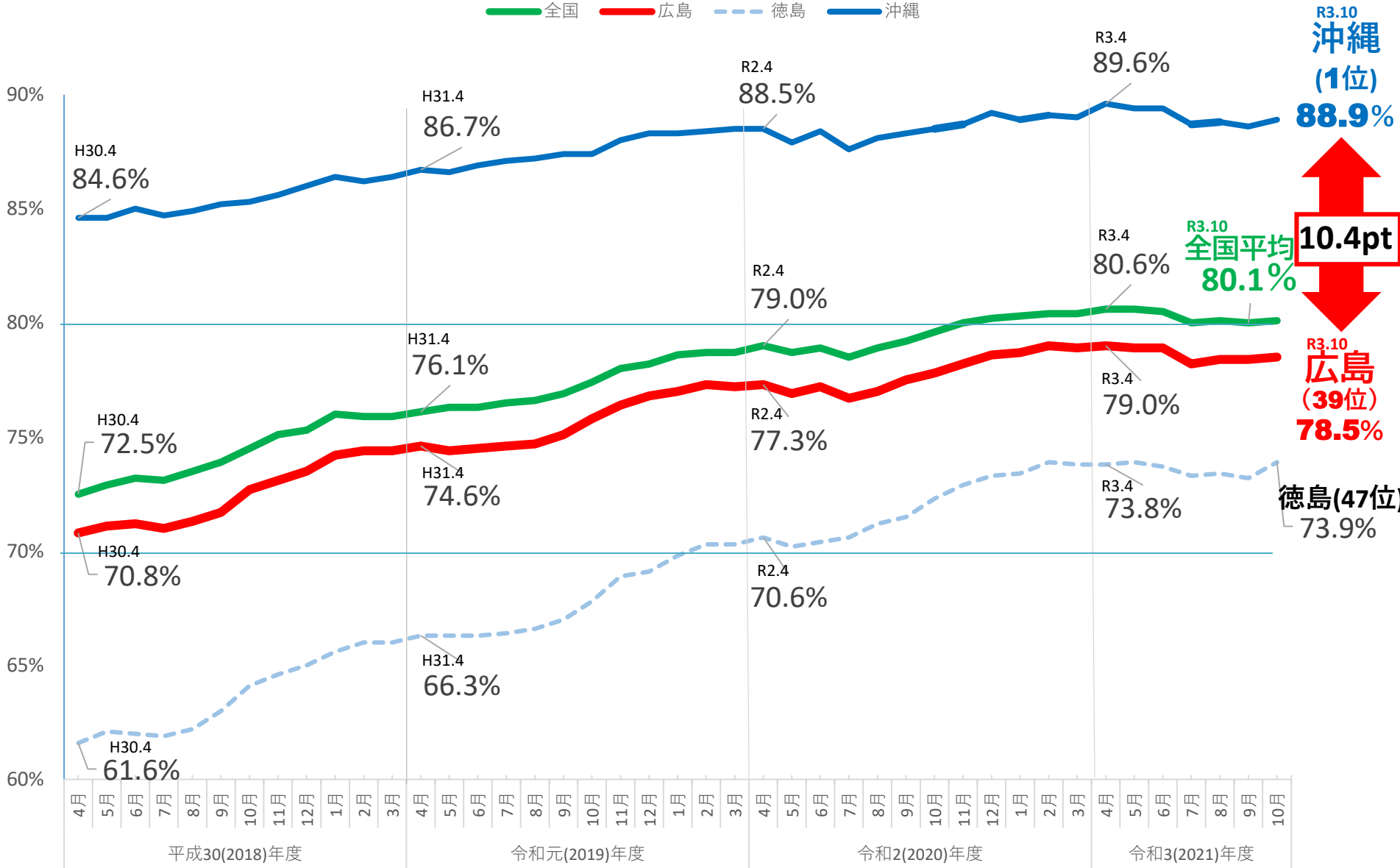
注2. 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注3. 加入者の適用されている事業所所在地別に集計したもの。

注4. 「新指標」は、 $\frac{\text{〔後発医薬品の数量〕}}{\text{〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕} + \text{〔後発医薬品の数量〕}}$ で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

ジェネリック医薬品使用割合の推移

全国 広島 徳島 沖縄



広島支部の主な取組

※下記画像について使用を希望される場合は、広島支部までご連絡をお願いします。

別紙4

取組① 保険薬局へのジェネリック医薬品使用状況のお知らせ（令和3年8月）

ジェネリック医薬品の調剤割合、地域における保険薬局の調剤割合の立ち位置、保険薬局におけるジェネリック医薬品数量割合向上に寄与する上位10医薬品など、個別の保険薬局の情報を掲載したお知らせを**1,441**保険薬局に送付しました。



取組② 事業所へのジェネリック医薬品使用状況のお知らせ（令和3年10月）

広島支部加入の約**8,200**事業所に対し、事業所に所属する加入者のジェネリック使用状況のお知らせを送付し、所属従業員への広報について協力依頼を行いました。その結果、下記のとおり申込みがありました。

- ジェネリック医薬品希望シール 約**12,000**枚
- ジェネリック医薬品啓発ポスター 約**130**枚
- 加入者の方への啓発チラシ 約**6,000**枚

取組③ 広島支部加入者へジェネリック医薬品啓発文書の送付（令和3年12月）

先発医薬品の調剤があった広島支部加入約**22,000**名を対象に、ジェネリック医薬品に切替を促す啓発文書を送付しました。



送付した方からの申込みで、合計約**5,000**枚のジェネリック医薬品希望シールを送付しました。（令和4年1月末現在）

取組④ ジェネリック医薬品希望シール・ポスターの無料配布（通年）



[サイズ：100mm×148mm。
保険証貼付用4枚、お薬手帳貼付用2枚。]



[B3版ポスター。広島県、広島県薬剤師会と3者連名。]

サンフレッチェ広島にご協力いただき、チームマスコットの「サンチェ・フレッチェ」を掲載しております。
希望シールは、保険証やお薬手帳に貼り付けていただくことで、ジェネリック医薬品の希望を医師や薬剤師に伝えやすくなります。